

分校だより

7月号



地域と共に歩む
大曲農業高等学校太田分校
(TEL) 0187 (88) 1311
(FAX) 0187 (86) 9035

夏の下、全校除草作業に取り組み

今年も安心・安全で美味しいお米作り挑戦!

一学期終業式 豊和校長先生のお話

やろうと思っただけでは進歩しない 思ったことは行動に移してこそ意味がある



毎日暑い日が続いています。早いもので一学期の終業式を迎えました。

この四か月を振り返ると、昨年に引き続きコロナ禍ではありますが、今年は臨時休業もなく、「全校田植え競技会」や「運動会」が天候にも恵まれ、実施できて本当に良かったと思います。これらの行事では、クラスが一丸となって協力し、頑張ってくれました。コロナで、気分もふさぎ込んでいた中で、歓声が上がり、皆さんのたくさんの笑顔が見られ、嬉しかったです。また授業では、いつも皆さんが集中して学習に取り組む姿を見ることができて、素晴らしいと感じています。さらに、今年は、県南総体や全県総体も開催されました。昨年のような悔しい年にならずに、本心に良かったと思います。

先日の甲子園予選では、六郷高校との連合チームで臨み、横手高校と対戦。結果は1対7で負けはしましたが、粘り強い好投や、随所に堅い守りの好プレイがあり、9回最後まで全力で頑張る姿に感動を覚えました。全校応援ができたことも良かったですし、何より素晴らしい試合をしてくれた野球部の皆さんに、心から大きな拍手を送りたいと思います。

さて、四月初めの始業式では皆さんに、新年度のスタートに当たり、まず皆さんには今年の目標を定めてほしいと話しました。皆さんの目標は何だったのでしょうか。一学期、その目標に向かって頑張ることができたでしょうか。夏休みを前にして、もう一度各自で自己点検してほしいと思います。

終業式に当たり、もう一つお話をします。それは「命を大切に、お互いを尊重しあう生活してほしい」ということです。「命を大切に」ということは、当たり前のことかもしれませんが、コロナ禍にあって、世の中は暗いニュースも多いように感じます。また様々な活動が制限され、思い通りに生活を送ったり、対人関係においても、これまでとは違った接し方が求められ、ストレスも確実に増えているのではないかと思います。特に対人関係においては、気軽に話しかけることができず、これまで以上にSNSに依存したコミュニケーションとなっているのではないかと考えます。SNSは大変便利ではありますが、反面、トラブル等に巻き込まれたりする可能性があることを十分認識する必要があります。特に、SNSを介して知り合った見ず知らずの人を信じ、直接に会うことは絶対にないようにしてください。冷静になって、時には人を疑う必要もあります。悩みがあれば、家族や友人、先生など信頼できる周りの人に相談してください。きつと力になってくれます。世の中で一番大切なものは命です。どうか、誰もが互いの違いを認め、相手を尊重し合う気持ちをもって、一緒になって頑張れる。誰もが嫌な思いをしない。そんな集団であってほしいと願います。

明日からの夏休みは32日間となります。一年延期された「東京オリンピック」がいよいよ、ほぼ無観客で開催されます。テレビで観戦する人も多いかと思いますが、コロナ禍での開催の是非について、皆さんはどう考えたでしょうか。

長い休みになります。コロナ禍でも自由に出歩ける環境ではありません。しかし、その分、何ができるのか、考えればきっとあるはずです。大事なことは、やろうと思っただけでは何も進歩しないということです。思ったことを「行動」に移してこそ意味があります。特に、高校三年生の皆さんにとっては、進路に直結する夏休みとなります。自分の目指す目標をしっかりと掲げ、その思いをぜひ「行動」で示し、進路目標を自らの手でつかみ取ってほしいと思います。

最後になりますが、休み中、絶対に事件や事故に遭わないよう、危険なことにはしない、命を大切にしてください。どうかこの夏休みを、自分の学びを深めたり、自分の課題を追究したり、自分の夢を実現するために使っていただきたいと思います。



TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	9	H	R	E	S	E	P	S
太田六郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横手	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県立大曲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



●7月9日(金)から始まった第103回全国高等学校野球選手権秋田大会。今年は明桜高校が優勝して幕を閉じました。太田分校と六郷高校の連合チームは12月(月)に、山田久志サマリアンスタジアムで横手高校と対戦しました。今年の太田分校の野球部員は八名で、同じ部員不足で悩む六郷高校との連合チームで大会に臨みました。連合チームという複雑な思いもありましたが、選手達は出場できる喜びを随所に全力プレーをしてくれました。一緒に練習できるのは休日だけということで、チーム作りは難しかったようですが、お互いに声を掛け合いながら支え合う姿にはとても感動しました。

試合は序盤走者を出しながらも皆でカバーして切り抜けましたが、3回に3点をとられてしまいました。しかし、先発の津嶋投手と守備陣が粘り強く踏ん張り追加点を与えません。そして6回表に1点を返し、連合チーム、応援団の盛り上がりは最高潮に。しかし、その裏2アウト満塁のピンチ。ここで堪えきれず横手高校に4点を取られてしまいました。それでも諦めずチャンスがあると信じてプレー続けました。選手達は最後まで諦めず一生懸命に白球に向かいましたが、9回表の攻撃も得点できず、1対7で敗れてしまいました。全校生徒や応援に駆けつけてくれた選手保護者の方々が健闘を讃え大きな拍手を送っていました。



●7月16日(金)、全校民謡講座の開催式が行われました。11月3日開催予定の全校民謡発表会に向けてのスタートです。

開講式では、教頭先生から講師の先生方への紹介と講師の先生から挨拶をしていただきました。その後、生徒達は三味線、尺八、小太鼓、そして唄や踊りなどの各パートに分かれて練習を積んでいくことになります。さらに東今泉八幡太鼓も披露することになっています。地域の方々に元気を与えたいという想いで練習を重ね、今年も太田文化プラザで発表会を開催する予定です。

●7月16日(金)、全校民謡講座の開催式が行われました。11月3日開催予定の全校民謡発表会に向けてのスタートです。

開講式では、教頭先生から講師の先生方への紹介と講師の先生から挨拶をしていただきました。その後、生徒達は三味線、尺八、小太鼓、そして唄や踊りなどの各パートに分かれて練習を積んでいくことになります。さらに東今泉八幡太鼓も披露することになっています。地域の方々に元気を与えたいという想いで練習を重ね、今年も太田文化プラザで発表会を開催する予定です。

